

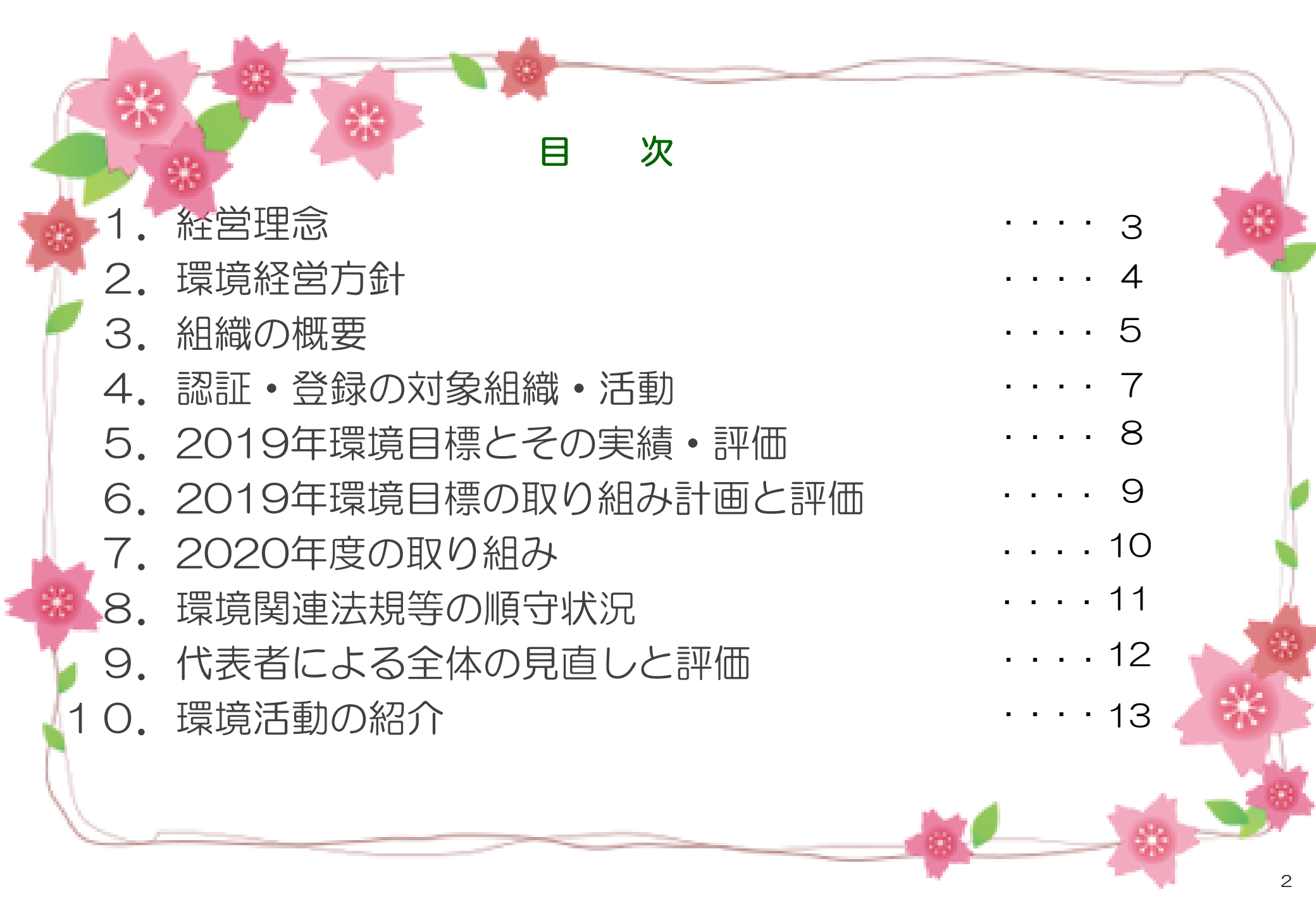
2019年度環境経営活動レポート

対象期間：2019年7月～2020年6月



マトヤ技研工業株式会社

2020年7月31日発行



目 次

1. 経営理念	．．．．	3
2. 環境経営方針	．．．．	4
3. 組織の概要	．．．．	5
4. 認証・登録の対象組織・活動	．．．．	7
5. 2019年環境目標とその実績・評価	．．．．	8
6. 2019年環境目標の取り組み計画と評価	．．．．	9
7. 2020年度の取り組み	．．．．	10
8. 環境関連法規等の順守状況	．．．．	11
9. 代表者による全体の見直しと評価	．．．．	12
10. 環境活動の紹介	．．．．	13

- 社会的信頼と責任

会社を取り巻く人々と誠意を持って協調し、お客様の視点で考え、お客様に安心して安全な機械装置を提案し、社会的信頼と責任を果たします。

- 会社の発展

永続的発展を第一とする健全経営を推進し、業界の先頭に立ち、絶えず新技術を創造し、社会から支持され、信用される企業経営に努めます。

- 社員の幸福

社員の幸福の達成に努め、社員は産業人として絶えず研鑽に努め、創意工夫と進取挑戦の精神で仕事に取り組みます。

2. 環境経営方針

マトヤ技研工業株式会社 環境経営方針

人類の利便性を求める経済活動が一方では地球環境の破壊に繋がり、人類の存在を脅かしています。マトヤ技研工業は、「社会的信頼と責任・会社の発展・社員の幸福」という経営方針を達成する為に「低炭素・循環型・自然共生社会」を考慮し、省力化・環境配慮機器の開発、製作、販売事業、並びに有益な社内環境活動を通じ、持続可能な社会環境を追及してまいります。

1. 事業活動全般における電力・燃料等のエネルギーの効率利用や水資源の有効利用による環境負荷及びコスト削減を追及し、最適な企業活動を目指します。
2. 省力化機器メーカーとして、お客様に省力化や環境配慮商品を供給し、労働負荷や環境負荷並びにコスト軽減に貢献する企業を目指します。
3. 業務及び製作工程における一般・産業廃棄物の発生を抑制し、発生物は資源への還元を目指します。
4. 当社周辺の緑豊かな地域に鑑み、化学物質の適正保管と使用、排出抑制を行なうと共に生態系への影響の少ない物質への切替えに取り組みます。
5. 地域に育まれる企業として、地域周辺の環境保全に全社員で取り組みます。
6. 環境保全活動をシステムの的に運営し、定期見直しを行い、継続的改善・汚染の予防を積極的に実施します。
7. 環境関連法規及び同意したその他の要求事項を順守する等コンプライアンスの向上を目指します。
8. この環境方針は、当社の環境活動の指針として全従業員に周知し、一般の方に公開します。

制定日：2008 年6 月1 日

改定日：2018 年7 月1 日

代表取締役 益留 福一

3. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社
代表取締役 益留 福一

(2) 所在地

本 社 〒899-8608
鹿児島県曾於市末吉町南之郷3050-6
宮崎工場 〒885-0063
宮崎県都城市梅北町11267
大阪営業所 〒561-0853
大阪府豊中市服部南町1-4-10
東京営業所 〒121-0011
東京都足立区中央本町4-15-13

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 豊増 敏夫（取締役専務）
環境事務局 益留 房代（取締役総務部長）
連絡先 TEL 0986-76-0018
FAX 0986-76-2729
E-mail info@matoya.com

(4) 創 業 1985年6月

益留、豊増、山内 の三名で創業。
それぞれの頭文字からマトヤと名付ける

(5) 事業内容 自動省力機器設計・製作および販売



地域未来牽引企業

地域未来牽引企業に
経済産業省から選定
されています。



毎年、各高校や各団体の
方々が、工場見学に來ら
れます。



インターシップの受け入れ
もしています。モンゴル高
専からも1名來ました。

(6) 事業の規模 (2019年度：2019年7月～2020年6月)

売上高 869百万円

従業員	本社	大阪営業所	東京営業所
	46名	2名	3名

(7) 当社のプロセス

新製品開発



営業



設計



加工



組立



据付工事

食肉・食品関連機械と電子部品生産システム自動車部品・クーラント関連機械の3部門 工業所有権 は 25 件

<主な製品>



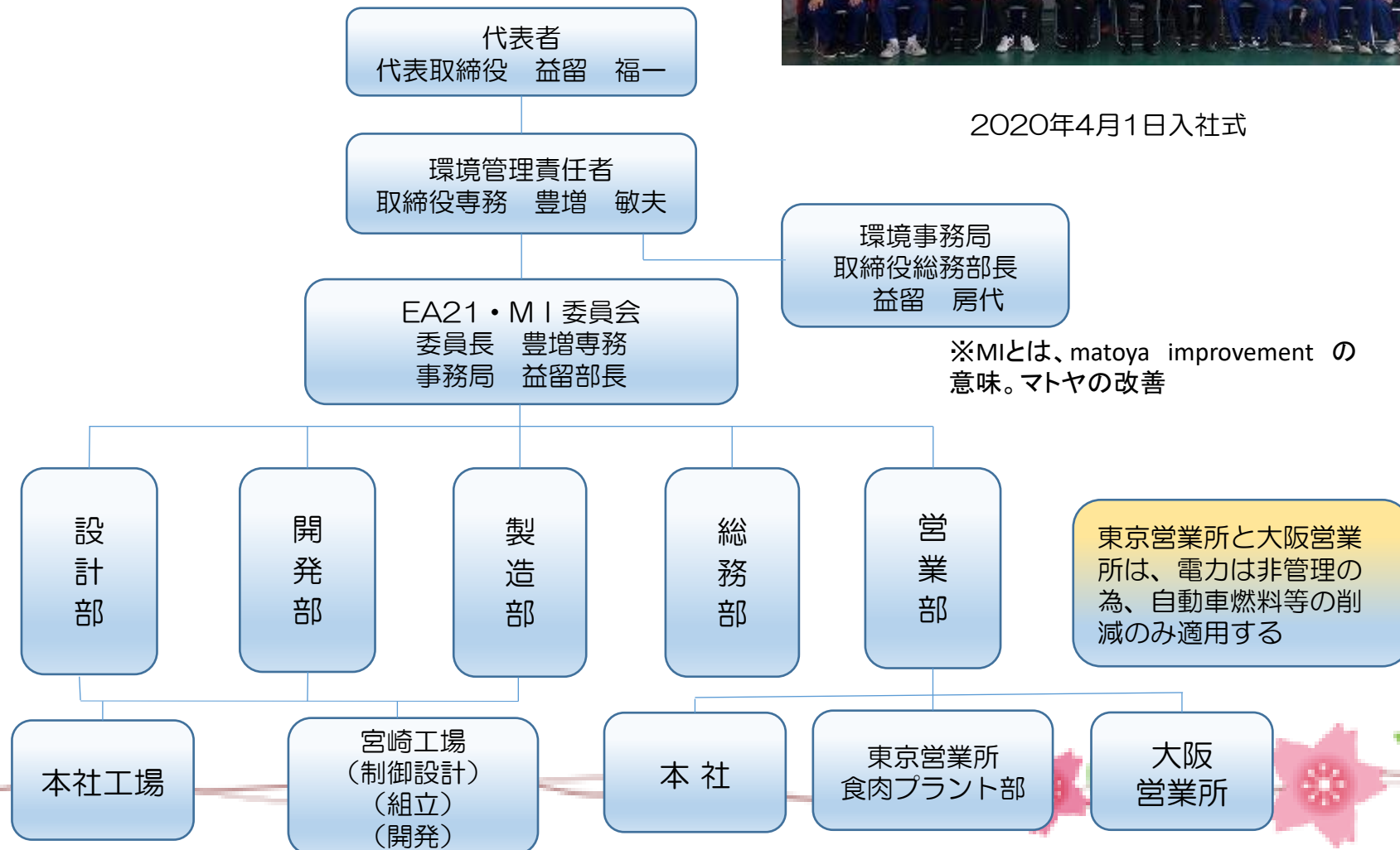
4. 認証・登録の対象組織・活動

適用範囲：マトヤ技研工業株式会社 本社・宮崎工場
大阪営業所・東京営業所

事業範囲：自動省力機器設計・製作及び販売



2020年4月1日入社式



5. 2019年度 環境目標及びその実績・評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

	目標	実績
① 電力の削減：LED照明に変える	食堂 → ○	
	資材室 → ×	
② 燃料の削減：基準年比	本社 △1% → 3.68%	
	東京 △1% → △ 3.81%	
	大阪 △1% → △ 4.71%	

2. 産業廃棄物の削減：リサイクル率 82% → 97%

3. 水使用量の削減：基準年比 本社 △1% → △ 5.12% 宮崎工場 △1% → △22.36%

4. 化学物質の低減：化学物質の保管管理及び保管場所の徹底清掃

5. 環境配慮製品の開発及び販売促進

- ① クーラント製品及び遠心分離機等
- ② 業務用 光触媒環境浄化装置

販売目標 84台 実績72台

7. 地域清掃活動

2019年度 目標 50回 実績 48回

☆東京営業所と大阪営業所では、電力と水資源と廃棄物は、共有の為管理できませんので、自動車の燃料CO₂の削減のみ行いました。

項 目		基準年度		2019年度		
				2019年7月～2020年6月		
		2018年度		目標	実績	評価
売上高		百万円	830	-	869	-
電力の削減	本社	LEDに変える	-	食堂		○
				資材室		×
		kg-CO ₂	※1	-	49,381	-
燃料CO ₂ 排出量	本社	kg-CO ₂		42,108	43,658	×
			42,533	△1%	3.68%	
	東京	kg-CO ₂		14,034	13,499	○
			14,176	△1%	△3.81%	
	大阪	kg-CO ₂		8,384	7,989	○
合計			8,469	△1%	△4.71%	
	kg-CO ₂		65,178	64,526	65,146	×
				△1%	0.96%	
産業廃棄物排出量		リサイクル率	※2			○
			81%	82%	97%	
水資源排出量	本社	m ³	※2	215	204	○
			217	△1%	△5.12%	
	宮崎工場	m ³	※3	237	184	○
			239	△1%	△22.36%	
化学物質の適正管理と清掃		回	27	24	36	○
環境配慮製品販売量		台	※2 83	84	72	×
地域清掃活動		回	※2 50	50	48	×

評価は、○は達成、×は未達成

※1) 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力の2018年度調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhで、算出しています。

※2) 基準年度：2016・2017・2018年度実績の平均値です

※3) 基準年度：2016・2017・2018年度実績の平均値です

6. 2019年度 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○できた
△あまりできなかった ×できなかった

取り組み計画	達成状況	評価	取り組み計画	達成状況	評価
電力による二酸化炭素排出量の削減			産業廃棄物(廃プラ)の削減		
冷房温度28℃設定	○	LEDの交換は、食堂、資材室を予定していましたが、資材室は、次年度に繰り越しとなりました。	委託処分廃棄物の削減	○	分別は、よくできています。
暖房温度の18℃設定	○		工事での産廃の分別徹底	○	
不要休憩時間照明の消灯	○		産廃ボックスへの廃棄物の最小化	○	
OA機器のこまめOFF	○				
エアコンフィルタの定期清掃	○		節水		
電灯のLEDへの交換	△		雨水の有効利用（洗車等）	◎	本社の方だけ洗車時に雨水を活用しています。
断熱フィルム	○		蛇口はこまめに閉める	○	
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減			化学物質の低減		
急加速発進の抑制	○	自動車の購入はありませんでした。	化学物質の保管管理及び清掃	◎	毎月、キッチンと管理も清掃も行って、在庫を増やさない努力をしました。
冷暖房の控え目使用（27℃）	○		塗装場清掃徹底1回/月(年12回)	◎	
買換え時はエコカーを購入する	-				
一般廃棄物の削減			製品への環境配慮		
裏紙利用両面印刷コピーの徹底	◎	グループウェアの導入で、ペーパーレス化が進みつつあります。	クーラント製品等の販売	△	目標台数には至りませんでした。
ペーパーレス化の推進	○		業務用光触媒環境浄化装置の販売	△	
ミスプリントを減らす	○		社会貢献		
雑誌カタログ段ボールの再生利用への徹底	◎		公民館の清掃	○	毎週水曜日の掃除の日に、暑い夏の日も一生懸命行ないました。働き方改革により公民館の庭の草刈も減りました。
シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎		周辺道路の清掃	◎	
納入業者へ段ボールの引き取り依頼	◎				

7. 2020年度の 取り組み

(1) 2020～2022年度 環境目標

東京営業所と大阪営業所の目標は

- ①環境方針等の掲示や環境活動レポートやマニュアルの設置。そして定期的な環境学習
- ②燃料CO₂排出量の削減の取組を行います。

項 目			基準値	2020年度目標	2021年度目標	2022年度目標
				2020年7月～ 2020年6月	2020年8月～ 2020年7月	2020年9月～ 2020年8月
電力の削減	本社			LEDに変える		-
燃料CO ₂ 排出量	本社	kg-CO ₂	2019年度 43,658	43,221 △1%	42,785 △2%	42,348 △3%
	東京	kg-CO ₂	2019年度 13,499	13,364 △1%	13,229 △2%	13,094 △3%
	大阪	kg-CO ₂	2019年度 7,989	7,909 △1%	7,829 △2%	7,749 △3%
	合計	kg-CO ₂	2019年度 65,146	64,495 △1%	63,843 △2%	63,192 △3%
産業廃棄物排出量		リサイクル率	3ヶ年平均値 87%	87%	87%	87%
水資源 排出量	本社	m ³	3ヶ年平均値 204	202 △1%	200 △2%	198 △3%
	宮崎工場	m ³	3ヶ年平均値 179	177 △1%	175 △2%	174 △3%
化学物質の適正管理と清掃		回	2019年度 36	36	36	36
環境配慮製品販売量		台	3ヶ年平均値 77	78	78	78
地域清掃活動		回	3ヶ年平均値 49	49	49	49

(2) 2020年度活動計画

※3ヵ年平均値は、2017・2018・2019年度実績の平均値です。

取 り 組 み 計 画		
電力の二酸化炭素排出量の削減	一般廃棄物の削減	節水
・冷房温度28℃設定	・裏紙使用・両面印刷コピーの徹底	・雨水の有効利用（洗車等）
・暖房温度の18℃設定	・ペーパーレス化の推進	・蛇口はこまめに閉める
・不要・休憩時間照明の消灯	・ミスプリントを減らす	化学物質の低減
・OA機器のこまめOFF	・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底	・化学物質の保管管理及び清掃
・エアコンフィルターの定期清掃	・シュレッダー廃紙のリサイクル化	・塗装場清掃徹底1回/月(年12回)
・断熱フィルム	・納入業者へ段ボールの引取り依頼	製品への環境配慮
・電灯のLEDへの交換		・クーラント製品
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減	産業廃棄物（廃プラ）の削減	・業務用光触媒環境浄化装置の販売
・急加速発進の抑制	・委託処分廃棄物の削減	社会貢献
・冷暖房の控えめ使用（27℃）	・工事での産廃の分別徹底	・公民館の清掃
・買換え時はエコカーを購入する	・産廃ボックスへの廃棄物の最小化	・周辺道路の清掃

8. 環境関連法規制等の違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	規 制 内 容	適用される施設物品等	適用される法規制	規 制 内 容	適用される施設物品等
廃棄物処理法 (一般廃棄物)	- 一般廃棄物の収集運搬業者への委託 - 契約（覚書）及び許可証写し保管（許可期限切れ更新）	一般廃棄物（紙くず、段ボール、厨芥、包装等）	資源有効利用促進法	- 別名：リサイクル法 - 使用済パソコン等のメーカー回収義務	社内パソコン
(産業廃棄物)	- 委託先許可業確認 - 収集運搬・処理業者との契約（委託契約・産廃管理票発行・5年間保管） - 産廃保管基準、保管置場の表示 - 産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告 - 自社による運搬時の表示・書類携行 - 多量排出業者、産廃処理計画・実施状況報告書提出、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	廃プラ 金属くず 廃油 廃酸 コンクリートくず	騒音規制法	特定施設の届出 空気圧縮機7.5kW以上。規制基準の遵守	空気圧縮機7.5kW 2台
			毒物及び劇物取締法	- 事故時連絡 - 保管場所の表示 - 盗難、流出防止	硝酸
			労働安全衛生法	有機溶剤の適正な管理・SDSの周知	塗料用溶剤
浄化槽法	- 設置届出・浄化槽の維持管理 - 定期点検・定期清掃・定期水質検査	合併浄化槽	フロン排出抑制法	- フロン類回収・破壊の適正取扱い - 業務用エアコン・冷凍冷蔵庫管理者の簡易・定期点検、漏洩量行政報告義務	業務用空調設備 コンプレッサー
自動車リサイクル法	使用済み車は引き取り業者に引き渡す。新車購入時にリサイクル費用を支払う	自動車			
家電リサイクル法	家電製品の廃棄時にリサイクル料金支払い	TV、冷蔵庫、家庭用エアコン			

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、2020年6月30日に確認した結果、法律違反等はありません。

また、地域住民からの訴訟や苦情や要望、行政からの指導などは創業以来ありません。（2020年6月30日現在）

9. 代表者による全体の評価と見直し

1. 環境活動の取組み結果の評価

- 産業廃棄物 全てに毎月〇が付く良い出来でした。皆の意識が結果に繋がりました。今後とも継続して下さい。
- 赤れ作戦 活発に提出される部署と、提出されない場所とに2分化される傾向が見られました。全社で良い会社にしてもらいたい。
- 雨水タンク 宮崎工場にもタンクが設置されましたが、工場内、工場外に利用するための配管設置がされずに活用するまでに至りませんでした。
- エコ検定 2人が合格しました。昨年の1人から本気になって受験してくれた意識の高まりです。
- 地域清掃活動 働き方改革のため、労働時間短縮に影響が及ぶために時間を16時半に切り替え、時間内にピタリ終わるようにしました。又、一部は都城市に草刈りをお願いし、当社の回数を2回程度に減らすことにしました。

2. 実績の評価

- 電力削減 一部には28℃以上、18℃以下のエアコン設定温度が守られていない所もありますが、全体的には意識は浸透しているようです。
- 自動車燃料等の削減 全ての項目に渡り達成が出来なかった。2トン車は昨年新型に交換したが軽油も昨年に比べて削減が無理だろうと言う程の量が増加した。車については壁に当たっているような感じをうける。基準を変える必要が有る。他の燃料も増加している。
- 産業廃棄物 廃棄物業者を昨年変えてから全てが目標を達成できるようになった。何時も思う事だが、環境を維持するためには多少の費用は掛けて行くべきである。
- 水資源の節水 本社は出だし2か月未達成が有りましたが、後は10か月達成できました。
- // 宮崎工場は出だし4か月が未達正でしたが、残りの8カ月は達成できました。
- 化学物質の適正な管理 全ての月にきっちり管理してくれました。
- 環境配慮製品の開発販売 6か月は目標を達成しましたが、6か月は×になりました。月の目標を達成しても累計は1度未達成になると挽回するのが難しいという形が見えました。光触媒も新型コロナウィルスに最適な商品で有るに拘わらず、販売しようと言う意欲に欠けていたという結果が見えます。又、安い商品に負けたという面もあります。
- 地域清掃活動 働き方改革の影響も有りますが、天気によって左右される面もある事が見えました。目標の立て方にも見直しが必要です。

3. 今後の取り組み

- この梅雨は長くて大雨が降り、お客様も工場の天井まで水没したところも有りました。気候は益々予想が出来ないことが多くなってきています。益々、皆でエコアクションに取り組む重要性が問われています。
- 地域清掃活動は天気の事を考慮して、回数を雨などで出来ないときは未達にせず先に延ばすなどして未達性を減らして行きます。
- 環境配慮製品開発 大口のユーザーが無くなると大きく影響が現れます。新製品の開発も食肉以外に必要なさが求められてきました。専務を中心に進めて下さい。
- 気温の異常な高気温が普通になって来ました。宮崎工場はエアコンが有りません。屋根は2重屋根で断熱材が効いていますが、空気の上昇は何らかの対策が必要です。取り敢えず、作業服にファンを付けた空調服を希望者に1着配布します。ゆくゆくは大型ファンなどを慎重に選定して作業環境の改善に努めたい。

10. 環境活動の紹介

1. 環境経営方針の周知



全社員を対象に、エコの
報告会をしました。



エコアクション21の認証・登録10年継続の感謝状を頂
きました。



新入社員5名に、エコ新人研修を行
ないました。



SDGSについても説明を
しました



2. 環境関連法規の遵守



年一回の防災訓練を行いました。
地震が発生しその後宮崎工場から出火と想定して、火災報知機も実際鳴らしました。永田防災さんから、消火器の使い方を習い、水入りの消火器で試してみました。



9月に曾於消防局から、消火機器等の点検確認がありました。



酸洗いの液が流出した場合の対策の勉強もしました。



毎年、火災警報器の点検と消火器の点検をしています。火災報知機の手配りについても学びました。



環境社会検定試験（エコ検定）に2名合格しました。



会社の買い物には、エコバックを使用するよう出入口に設置してあります。

3. 二酸化炭素排出量の抑制



本社の食堂の照明を、LEDに替えました。



社有車は、クリーンディーゼル車が2t車、乗用車2台。ハイブリッド車が、3台あります。



デマンドは、しっかり作用しています。

4. 資源の効果的活用の推進



複合機では裏紙再利用とミスコピーを無くすよう心がけています



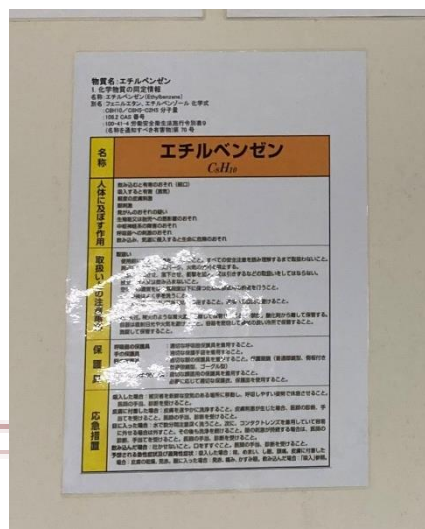
第10回ニチバン巻心「ECOプロジェクトテープの巻心を集めて緑の地球を守ろう」に参加して感謝状を頂きました。



事務所で集めた古切手は、川内なでしこライオンズクラブへ贈呈し、インクカートリッジはエコリカで回収してもらいます。



5. 化学物質の適正な管理及び清掃



塗装場はいつも清掃を行ないチェック表に記入しています。

在庫管理もしっかりしてあり、余分な在庫は置かないようにしています。

塗装料を使う時の、注意書きも貼り出しています



6. 製品への環境配慮

6-1. 環境配慮型クーラント製品の開発・販売



マグネットコンベアーは、機械部品加工会社の機械に取り付けて、切り粉をクーラント液の中から自動的に取り出すことによって、クーラント液の寿命を延ばし、クーラント液の使用量を減らす効果があります。(廃液が減る)

6-2. 除菌と消臭を同時に行う業務用光触媒環境浄化装置の販売

光触媒環境浄化装置（かざとキンとり君）は、業務用として介護施設や病院、空港施設など幅広く使用されています。もちろん、一般家庭用も使用されています。（かざとは、鹿児島弁で臭いです）



光触媒環境浄化装置は、家庭でも病院や介護施設、大学病院等幅広く活用できます。

7. 地域の環境保全事業への参加



社員駐車場・敷地周辺の道路の草刈りや清掃を、毎週水曜日に、行っています。5月から朝ではなく夕方に行うようにしました。



宮崎工場前の花壇も、みんなが苗を植えています。